

はちバス



西南部コースまっぷ

運賃は100~200円!

◆地域の皆様が利用しやすいように、鉄道駅、住宅団地、公共施設、商店などを循環します。

- …はちバス独自のバス停
- …路線バスのバス停が併設
- …路線バスとの乗り継ぎ情報

沿線の見どころ案内①

★A【月夜峯新橋】

橋の名前になっている「月夜峯」とは、戦国時代の武将、北条氏照(ほうじょうじて)が八王子一帯を支配していた頃、この地で月を鑑賞したということから、こう呼ばれるようになったといわれています。現在の元八王子2丁目東端から、横川・長房町の町境周辺にかけての丘陵地帯で、共立女子学園のある辺りも含まれます。天正18年、八王子城をせめる豊臣秀吉の軍勢は、周辺より高かったこの場所に陣を構えました。(バス停6番「月夜峯新橋」すぐ)

★B【出羽山公園】

城山手にある出羽山(でわやま)公園は、この地が出羽山と呼ばれていたことから、この名がつけました。出羽山には、戦国時代の武将、北条氏照の家臣近藤出羽守(でわのかみ)の屋敷があったといわれています。近藤出羽守は天正18年、豊臣秀吉の軍勢が八王子城を攻めた際、八王子城で討死した人物の一人です。(バス停12番「城山手入口」すぐ)

★C【石平道人墓】

長泉寺(ちようせんじ)の東側に市指定文化財石平道人(せきへいどうじん)墓があります。石平道人は、鈴木正三(しろうさん)という江戸時代前期の禅僧であり思想家です。三河国足助(みかわのくに あすけ)に家督(かどく)を息子に譲って出家し、諸国を行脚(あんぎや)しました。その後、八王子に堅叔庵(けんしゆくあん)を開きました。(バス停12番「城山手入口」または14番「城山手こぶし公園」から徒歩10分ほど)

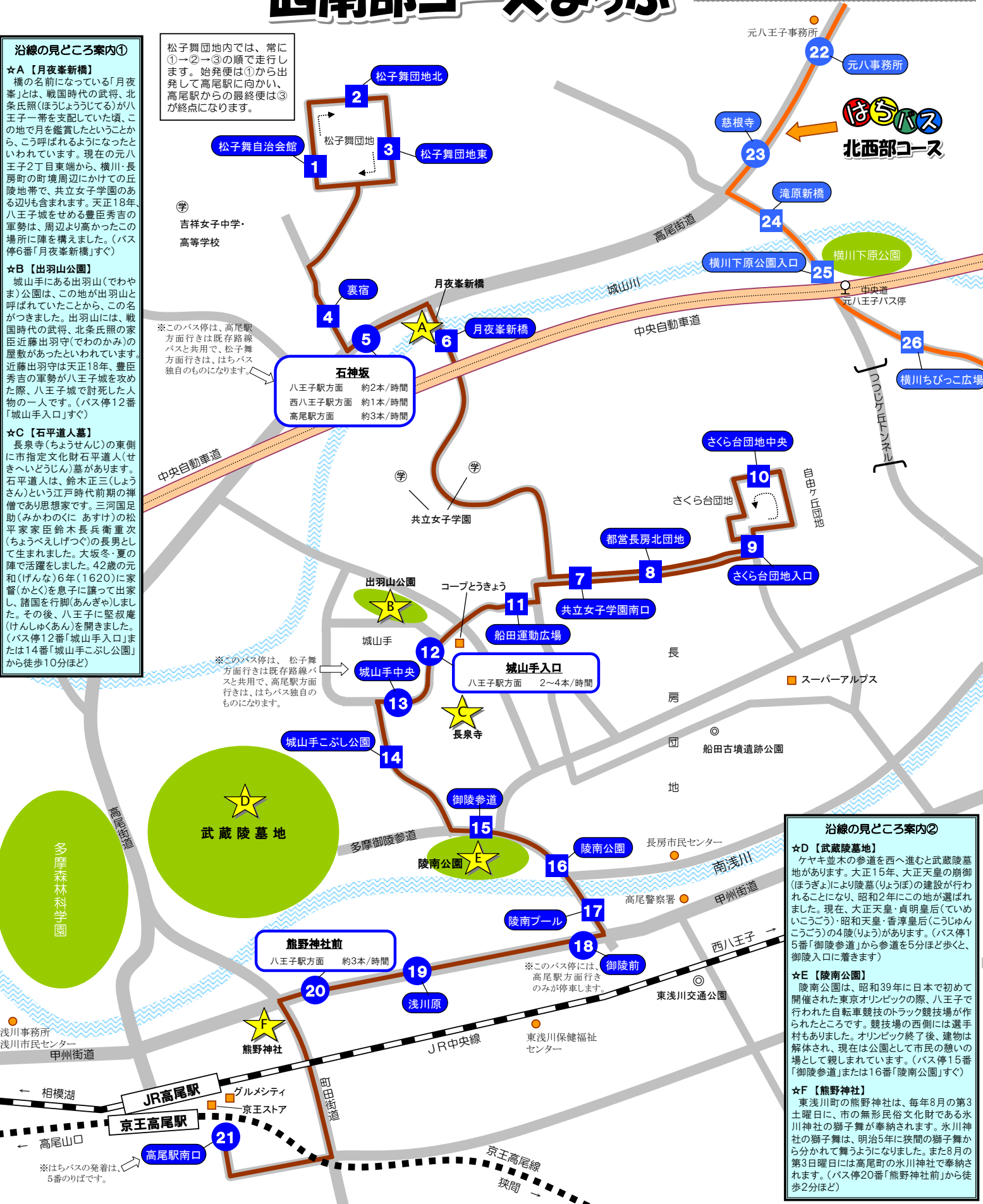
松子舞団地内では、常に①→②→③の順で走行します。始発便は①から出発して高尾駅に向かい、高尾駅からの最終便は③が終点になります。

※このバス停は、高尾駅方面行きは既存路線バスと共用で、松子舞方面行きは、はちバス独自のものになります。

※このバス停は、松子舞方面行きは既存路線バスと共用で、高尾駅方面行きは、はちバス独自のものになります。

※このバス停には、高尾駅方面行きのみが停車します。

※はちバスの発着は、5番のりばです。



はちバス
北西部コース

沿線の見どころ案内②

★D【武蔵陵墓地】

ケヤキ並木の参道を西へ進むと武蔵陵墓地があります。大正15年、大正天皇の崩御(ほうぎよ)により陵墓(りょうぼ)の建設が行われることになり、昭和2年にこの地が選ばれました。現在、大正天皇・貞明皇后(ていめいこうごう)・昭和天皇・香淳皇后(こうじゆんこうごう)の4陵(りやう)があります。(バス停15番「御陵参道」から参道を5分ほど歩くと、御陵入口に着きます)

★E【陵南公園】

陵南公園は、昭和39年に日本で初めて開催された東京オリンピックの際、八王子で行われた自転車競技のトラック競技場が作られたところです。競技場の西側には選手村もありました。オリンピック終了後、建物は解体され、現在は公園として市民の憩いの場として親しまれています。(バス停15番「御陵参道」または16番「陵南公園」すぐ)

★F【熊野神社】

東浅川町の熊野神社は、毎年8月の第3土曜日に、市の無形民俗文化財である水川神社の獅子舞が奉納されます。水川神社の獅子舞は、明治5年に狭間の獅子舞から分かれて舞うようになりました。また8月の第3日曜日には高尾町の水川神社で奉納されます。(バス停20番「熊野神社前」から徒歩2分ほど)